

町田市文化財年報

2021 年度

町田市教育委員会

例 言

- 1.本書は 2021 年度、町田市内で行われた文化財事業の概要を記したものである。
- 2.本書の作成は町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課が編集・執筆を担当した。

目次

I.文化財保護審議会 5

- 1.文化財保護審議会委員名簿
- 2.開催状況
- 3.主な審議内容

II.文化財保護普及事業 6

- 1.資料の貸出
- 2.写真の掲載等
- 3.資料調査対応
- 4.講師等の派遣
- 5.出版物の刊行
- 6.考古資料室
- 7.文化財の展覧会等

III.埋蔵文化財保存事業 14

- 1.試掘調査
 - (1) 町田市№958 遺跡
 - (2) 町田市№983 遺跡
 - (3) 田端・田端東遺跡 (町田市№102 遺跡)
 - (4) 町田市№563 遺跡
 - (5) 町田市№482 遺跡
 - (6) 町田市№990 遺跡
 - (7) 綾部原遺跡 (町田市№295 遺跡)
 - (8) 綾部原遺跡 (町田市№295 遺跡)
 - (9) 木曽中学校・忠生A2区遺跡 (町田市№826 遺跡)
- 2.本調査
 - (1) 田端遺跡

I.文化財保護審議会

文化財保護審議会は町田市文化財保護条例 48 条により設置され、教育委員会の諮問に応じて文化財保存及び活用などについて調査、審議し、教育委員会に建議するものとされている。委員は 10 名以内で構成され、教育委員会が委嘱している。2021 年度は 8 名の委員が委嘱され、文化財に関する審議を行なった。

1.文化財保護審議会委員名簿

氏 名	現 職 等	担当分野
◎浜田弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学
○八木橋伸浩	玉川大学教授	民俗学・文化史
小島政孝	小島資料館館長	郷土史
阿諏訪青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史
阿部朝衛	帝京大学教授	考古学
内野秀重	八王子市長池公園自然館園長	自然誌
大野敏	横浜国立大学教授	建築史
鶴巻孝雄	元東京成徳大学教授	日本近代史

※◎は会長、○は副会長（2022 年 3 月 31 日現在）

2.開催状況

2021 年 5 月 21 日（金曜日） 書面開催
2021 年 7 月 12 日（月曜日）
2021 年 11 月 9 日（火曜日）
2022 年 2 月 7 日（月曜日） 書面開催

3.主な審議内容

- ・町田市の歴史資料の収集・保存管理・活用に関する方針について
- ・その他

Ⅱ.文化財保護普及事業

1.資料の貸出

貸出先	展示会名	貸出資料	貸出期間
東京都江戸東京博物館	「縄文 2021－東京に生きた縄文人－」	忠生遺跡 55 点、なすな原遺跡 54 点、田端遺跡 8 点など 132 点	2021.9.30～12.16
角川武蔵野ミュージアム	「武蔵野 3 万年のレシピ」	なすな原遺跡 土偶、小野路藤塚遺跡 顔面把手、木曽中学校遺跡 クルミ形土器	2021.10.13 ～ 2022.2.25

2.写真の掲載等

提供先	出版物等	提供資料	発行
町田地方史研究会	「町田の地名 南地区」	なすな原遺跡 耳飾り 牢場遺跡発掘作業の写真 小川柳谷戸・鎌倉古道の写真（「町田市の文化財第一集」から）	2021.5.15
株式会社多摩ニュータウン開発センター	「南大沢かわら版」	田端環状積石遺構 景観、平面図、現在の写真	2021.8
縄文ドキドキ会	「縄文ドキドキ総選挙」web サイトにおける模写イラストの掲載	木曽中学校遺跡 クルミ形土器	2021.9.16
株式会社雄山閣	谷口康浩著「土偶と石棒 儀礼と社会ドメスティケーション」	忠生遺跡 D 地区 JT 1 柄鏡形敷石住居跡	2021.10.25
公益財団法人角川文化振興財団	「武蔵野樹林 vol.8」	なすな原遺跡 土偶、小野路藤塚遺跡 顔面把手	2021.11.6
JCOM 株式会社	「Live ニュース」	まちだ縄文キャラクター「まっくう」イラスト	2021.12.16
公益財団法人角川文化振興財団	「武蔵野樹林 vol.9」	田端環状積石遺構 石棒	2022.1.31
海田英柚悺	『遺跡に学ぶ考古学クッキング』（仮題）	なすな原遺跡 注口土器 木曽中学校遺跡 クルミ形土器	2022.2
株式会社アルタイル	「ルシピアだより」2 月号	田端東遺跡 中空土偶	2022.2
株式会社地球の歩き方	「地球の歩き方 J 02 多摩地域」（仮題）	考古資料室、高ヶ坂石器時代遺跡、西谷戸横穴墓群、小山田 1 号遺跡	2022.3
株式会社トリアド工房	ホームページ等への掲載	小山田 1 号遺跡	—

3. 資料調査対応

機 関 等	目 的	資 料 名	調 査 日
奈良大学	レポート作成	旧永井家住宅、旧荻野家住宅	2021.5.13
奈良大学	研究	西谷戸横穴墓群 圭頭大刀	2021.10.28

4.講師等の派遣

月 日	依頼・主催者	内 容	参加人員	実 施 場 所
6 月 1 日	生涯学習センター	まちだ市民大学H A T S町田の歴史講座（市域の人びとが経験した災害の歴史）「縄文時代の町田～気候変動の視点から～」	29 名	※録画したもの のを上映
6 月 16 日	生涯学習センター・鶴川地区協議会	3 水スマイルラウンジ まなびのひろば「鶴川駅前の古墳・横穴墓を知っていますか？—能ヶ谷香山古墳群について—」	42 名	和光大学ホッポリ ホール鶴川
10 月 22 日	南第 2 高齢者支援センター	地域介護予防教室 仲間とめざそう元気生活！ 「近所にも遺跡がいっぱい（町田の遺跡について）」	15 名	金森市営住宅 集会室
10 月 29 日	ゆくのき学園 武蔵丘中学校	総合的な学習の時間におけるグループワークの講師	3 名	ゆくのき学園
11 月 14 日	縄文フェスティバル実行委員会	縄文フェスティバルまちだの 〇（わ）/「縄文の街 町田」講習＆八幡平遺跡 ガイドツアー	90 名	国際版画美術館講堂～八幡 平遺跡

5.出版物の刊行

書 名	発行機関	発行年月日	発行部数
田端遺跡 2021 年度 発 掘調査報告書	株式会社イオス、町田市教育委員会	2021.9.30	300
町田市文化財年報 2020 年度	町田市教育委員会	2022.2.22	250

6.考古資料室

展示コーナーのみを年末年始を除く、毎月第2、第4土曜、日曜、祝祭日（7、8月は毎週土日、祝祭日）に開室している。

展示内容は東京都指定有形文化財1件、町田市指定有形文化財9件と登録文化財1件の考古資料を合わせて11件を中心に、市内各遺跡の縄文、弥生、古墳、奈良、平安、室町時代の表的な出土品約200点で構成している。

7.文化財の展覧会等

(1)町田ツーリストギャラリーでの展示

2020年度より町田市観光コンベンション協会の協力を得て「ぼっぼ町田」1階、「まちの案内所 町田ツーリストギャラリー」で考古資料の展示を行っている。

2021年4月1日～8月3日

なすな原遺跡出土 隆起線文土器(町田市指定有形文化財 レプリカ)
縄文時代草創期

2021年8月4日～12月23日

なすな原遺跡出土 注口土器 縄文時代後期

2021年12月24日～2022年3月31日

鶴川遺跡M地点出土 異形台付土器（東京都指定有形文化財 レプリカ）
縄文時代後期



2021年4月1日～8月3日



2021年8月4日～12月23日



展示の様子

2021年12月24日～2022年3月31日

(2)市庁舎 1 階イベントスタジオでの展示

2021 年 7 月に決定した「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を記念して、「祝「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録！町田にもいたそっくりさん」と題して町田市の縄文時代の資料の中で類似する資料を展示し、縄文時代の北海道・東北地方と町田市の意外なつながりを紹介した。2021 年 12 月 20～24 日に開催し、観覧者数は 297 人であった。

町田市役所1階イベントスタジオ展示

祝「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録！

町田にもいた そっくりさん

町田にもある、世界遺産の土偶やストーンサークルなどのそっくりさんを見に行こう！

2021年12月20日（月）～12月24日（金）

展示時間：9:00～17:00
*12月20日のみ13:00～

見学無料

「中空土偶」は
ボクのモデルだよ！
会いに来てね！！

中空土偶
(田端東遺跡)

ストーンサークル

田端環状積石遺構

まちだ縄文キャラクター
「まっくう」

(3)東京文化財ウィーク

国の「文化財保護強調週間」に合わせて、都内各地にある文化財を一斉に公開する「東京文化財ウィーク 2021」に参加した。

(4)多摩郷土誌フェア

東京都の各市町村の文化財関係出版物を一堂に集めて展示販売する「多摩郷土誌フェア」はコロナ禍のため中止となった。

(5)文化財防火デー

例年、町田消防署と町田市が主催して消防訓練を実施しているが、コロナ禍のため中止となった。

(6)まっくう給食

町田市から発掘された土偶をモデルとした、まちだ縄文キャラクター「まっくう」を通じて「縄文のまちだ」に親しみと誇りを持ってもらうことを目的とし、東京文化財ウィーク期間中に実施した。「まっくう」をモチーフにしたもの、または土偶や土器など縄文にちなんだメニューを各小学校で提供した。



Ⅲ.埋蔵文化財保存事業

1.試掘調査

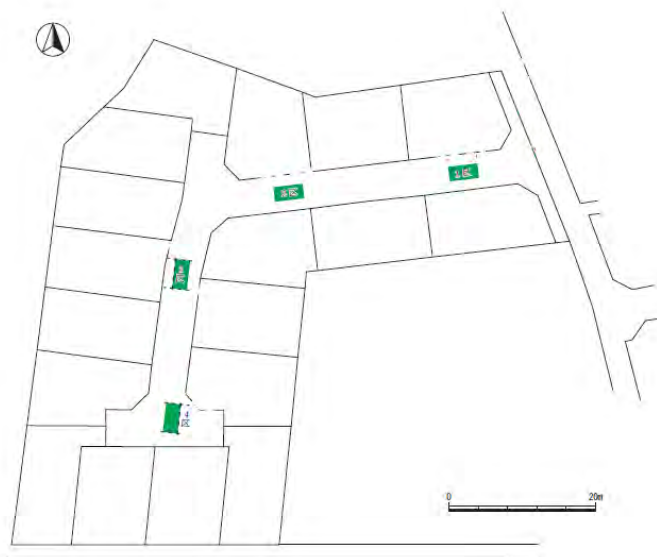
(1)町田市№985 遺跡

所在地	矢部町字二十五号 2631-1 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2021 年 4 月 6～7 日
調査面積	2×4m×4ヶ所=32 m ²
支援業者	(株)四門
検出遺構	なし
検出遺物	なし



調査概要

境川左岸の沖積低地に立地し、標高は約 102mである。調査は道路予定地に 2×4mの試掘坑を 4ヶ所設定し、実施した。調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。周辺の地形から、境川の氾濫原の範囲内と想定される。東側の台地上には集落が確認されており、崖線がそのまま集落範囲の西限となっていたと想定される。本遺跡は崖上集落の水場として利用され、遺物が混入したと考えられる。



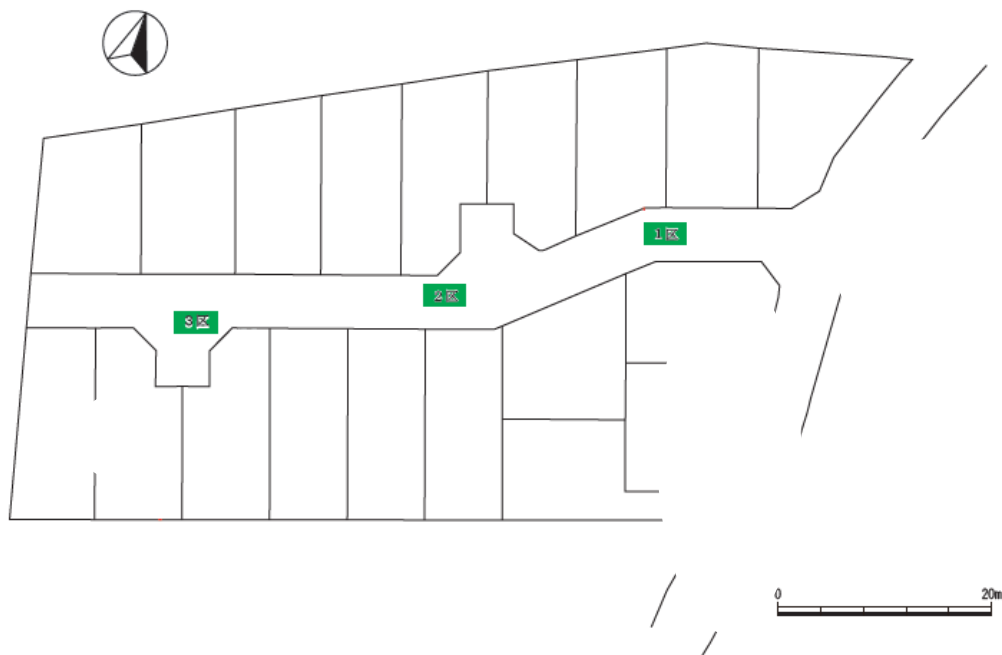
(2)町田市№983 遺跡

所在地	矢部町字二十六号 2783-1 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2021 年 4 月 8～9 日
調査面積	2×4m×3 ヶ所=24 m ²
支援業者	(株)四門
検出遺構	ピット 1 基
検出遺物	なし



調査概要

境川左岸の沖積低地に立地し、標高は約 104mである。調査は道路予定地に 2×4mの試掘坑を 3 ヶ所設定し、実施した。調査の結果、1 区南壁からピット 1 基を確認した。遺物は確認されていない。周辺の地形から、境川の氾濫原の範囲内と想定される。東側の台地上には集落が確認されており、崖線がそのまま集落範囲の西限となっていたと想定される。本遺跡は崖上集落の水場として利用され、遺物が混入したと考えられる。



2 区

(3)田端・田端東遺跡（町田市№102 遺跡）

所在地 小山町字二十九号 3059-1
 調査原因 宅地造成
 調査期間 2021 年 4 月 12～14 日
 調査面積 2×4m×4 ヶ所=32 m²
 支援業者 (株)四門
 検出遺構 竪穴建物跡 2 軒、土坑 1 基
 性格不明遺構 2 基、ピット 2 基
 検出遺物 縄文土器、石器、土師器、須恵器



調査概要

地形的には多摩丘陵南端から境川へ落ちる丘陵斜面に立地し、標高は 126～127mである。調査は道路・切土予定地に 2×4m の試掘坑を 3 ヶ所設定し、実施した。3 区からは縄文中期加曽利 E II～III 式期の遺物を伴う竪穴建物跡 1 軒、後期堀之内式の遺物を伴う土坑 1 基が確認された。4 区からカマドを伴う竪穴建物跡と想定される遺構が検出されたが、耕作の影響で大半が壊されていた。耕作土からは土師器・須恵器が認められた。



3 区



4 区

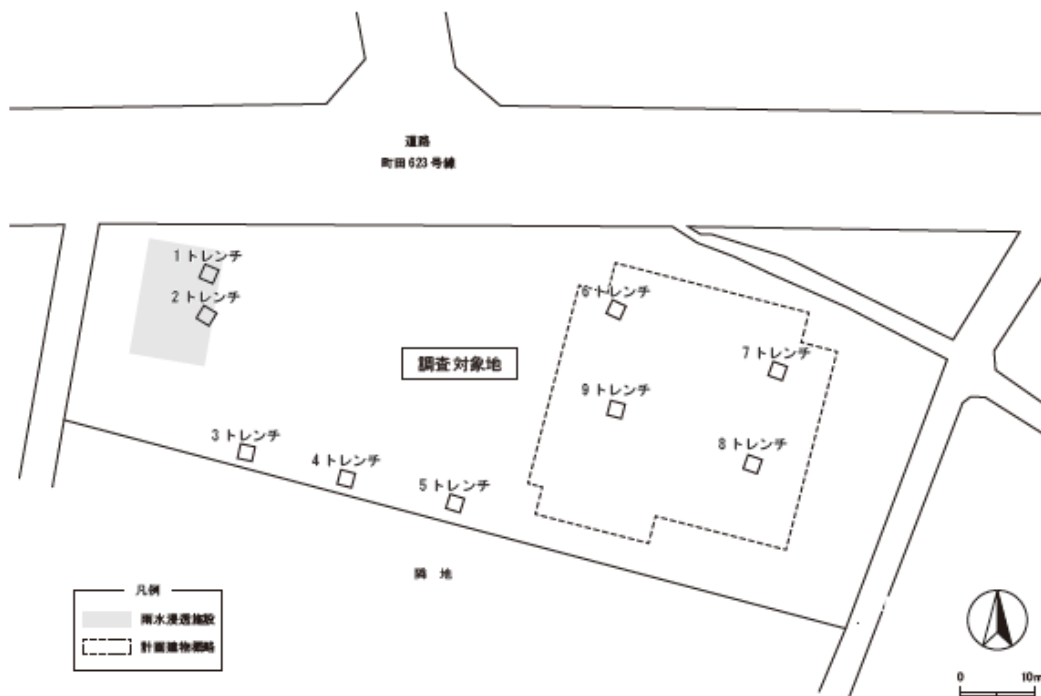
(4)町田市№563 遺跡

所在地 本町田字十七号 2160 外
 調査原因 宅地造成
 調査期間 2021 年 5 月 24～27 日
 調査面積 $2 \times 2 \text{m} \times 9 \text{ヶ所} = 36 \text{m}^2$
 支援業者 (株)四門
 検出遺構 なし
 検出遺物 なし



調査概要

調査地点は恩田川流域の台地上に立地し、標高は約 83mである。調査は建設予定建物と貯水桝を建設予定箇所に $2 \times 2 \text{m}$ の試掘坑 9 ヶ所を設定し行った。試掘調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。土層は上面から順に、表土・富士黒層(Ⅱb 層)・ローム漸移層(Ⅱd 層)・ソフトローム層(Ⅲ層)・ハードローム層の層位が確認された。



1 トレンチ



6 トレンチ

(5)町田市№482 遺跡

所在地 山崎町字七号 1116 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2021 年 11 月 16～17 日
調査面積 $2 \times 4 \text{m} \times 4 \text{ヶ所} = 32 \text{m}^2$
支援業者 (株)四門
検出遺構 なし
検出遺物 なし



調査概要

調査地点の地形は北東側から南西側、東側から西側に向かってゆるく傾斜している。また調査地北西側は一段高くなっている。調査は道路・切土予定地に $2 \times 4 \text{m}$ の試掘坑を 3 ヶ所設定し、実施した。どのトレンチからも表土層の下には盛土が認められた。1 トレンチは盛土が厚くローム層を確認できなかった。2～4 トレンチでは盛土層の下からローム層が確認できた。遺構・遺物は確認できなかった。



1 トレンチ



2 トレンチ

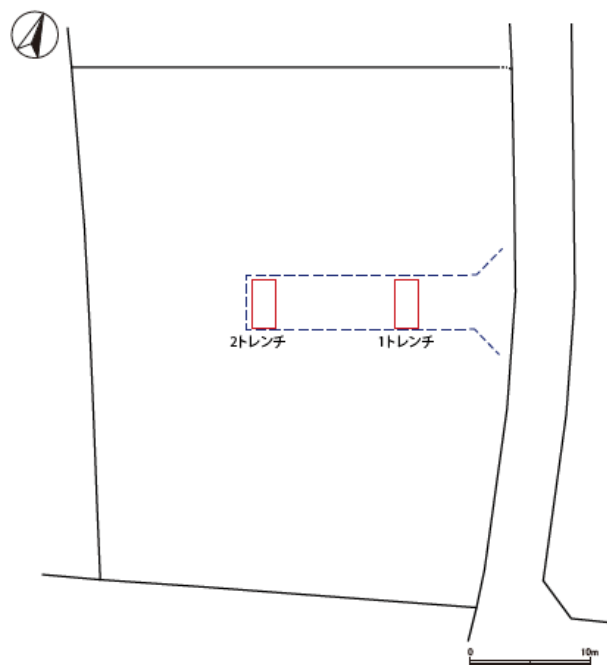
(6)町田市№990 遺跡

所在地	本町田字十号 1510-1 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2021 年 11 月 25 日
調査面積	2×4m×2 ヶ所=16 m ²
支援業者	(株)四門
検出遺構	なし
検出遺物	なし



調査概要

調査地点は恩田川流域の台地上に位置し、現状は畑地である。調査は道路建設予定地に2×4mの試掘坑2ヶ所を設定し行った。表土以下は富士黒色土層・ローム漸移層・ソフトローム層となり、北西側から南東側に緩やかに下がる谷地形である。遺構・遺物は確認されなかった。



1 トレンチ

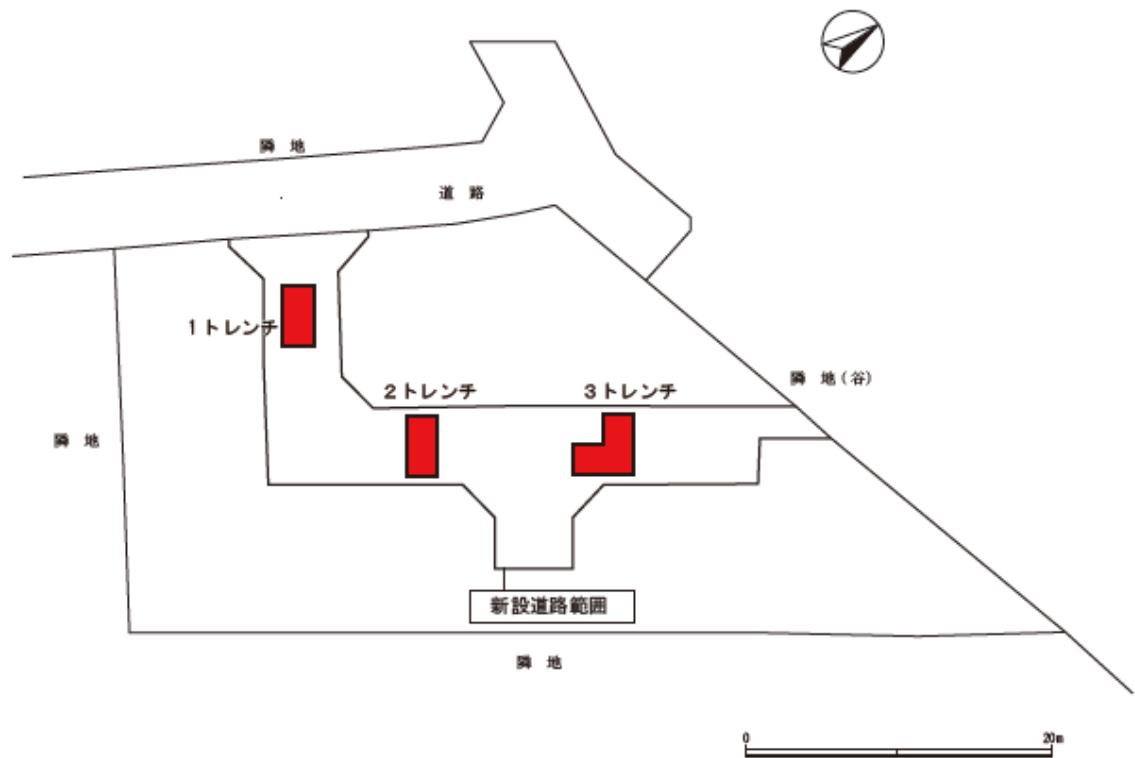
(7)綾部原遺跡（町田市№295 遺跡）

所在地 野津田町字綾部 1440-1
調査原因 宅地造成
調査期間 2021 年 12 月 7～9 日
調査面積 $2 \times 4\text{m} \times 3 \text{ヶ所} + 2 \times 2\text{m}$
=28 m^2
検出遺構 竪穴建物跡 2 軒
検出遺物 縄文土器、土師器



調査概要

調査地点の現状は畑地で、標高約 62m、北側へ緩く傾斜している。敷地外北側は町田市立鶴川中学校方面へ大きく落ちる谷地形である。調査は道路建設予定地に $2 \times 4\text{m}$ の試掘坑 3 ヶ所を設定し実施した。1・3 号トレンチから弥生時代末から古墳時代初の土器片を伴う竪穴建物跡が確認された。3 号トレンチでは遺構の様子を確認するため南西側に $2 \times 2\text{m}$ の拡張区を設定し調査を行った。



3 トレンチ



3 トレンチ 出土遺物

(8)綾部原遺跡（町田市№295 遺跡）

所在地	野津田町字綾部 1428 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2022 年 1 月 12 日
調査面積	2×4m×3 ヶ所=24 m ²
検出遺構	なし
検出遺物	なし



調査概要

調査地点の現状は栗林で、標高は約 69mである。敷地北側は大きく傾斜する谷地形である。調査は道路建設予定地に 2×4mの試掘坑 3 ヶ所を設定し実施した。すべてのトレンチで地表下 1.5mまで掘削したが、盛土が施されており、遺構・遺物及び自然堆積層は確認されなかった。



2 トレンチ

(9)木曽中学校、忠生A2 地区遺跡

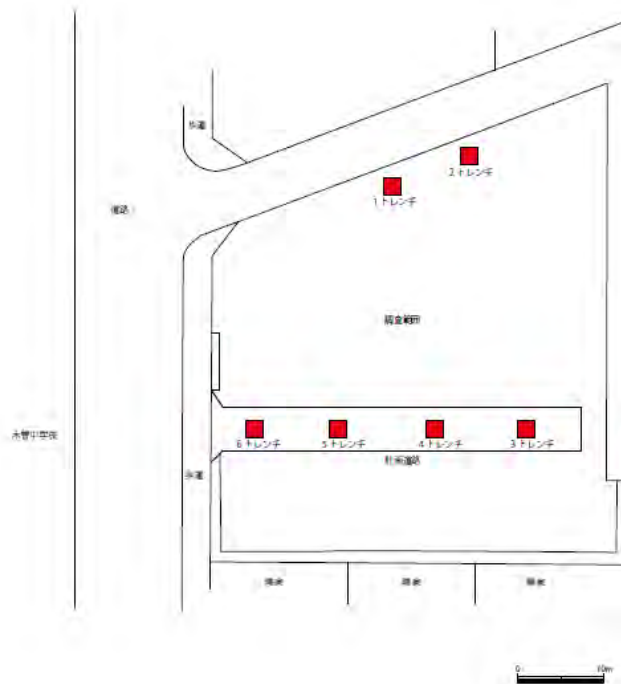
(町田市№826 遺跡)

所在地	木曽西二丁目 2-6 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2022 年 3 月 1～2 日
調査面積	2×2m×6 ヶ所=24 m ²
検出遺構	なし
検出遺物	なし



調査概要

調査地の現状は畑地であり、ほぼ平坦であるが、調査区外西側の道路（忠生公園通り）の様相から南側の境川方面に向かってなだらかに傾斜していることがわかる。調査は道路・切土予定地に 2×2m の試掘坑 6 ヶ所を設定し行った。2～5 トレンチは地表下 1.5m まで盛土が施されており、自然堆積層までの調査は及ばなかった。1 トレンチでは 0.3m の表土層が堆積し、表土層直下からハードローム層が確認された。



1 トレンチ



3 トレンチ

2.本調査

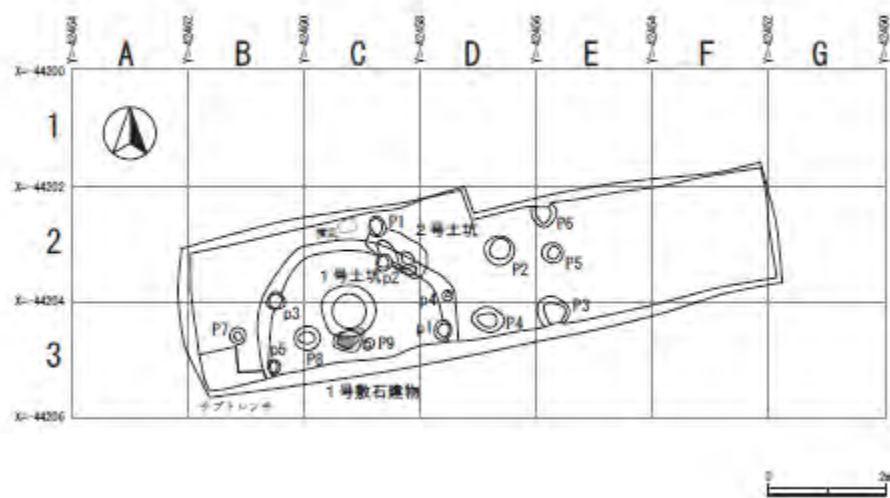
(1)田端遺跡

所在地 小山町字二十九号 3059-1
調査原因 宅地造成
調査期間 2021年5月10～24日
調査面積 22.17㎡
支援業者 (株)四門
検出遺構 敷石建物跡1軒、土坑2基
ピット9基
検出遺物 縄文土器、石器、石製品



調査概要

敷石建物跡は縄文中期後半加曾利EⅢ式期のものである。平面形は円形を呈すると考えられ、規模は東西3.4m、南北2.09m以上、敷石上面までの深度は0.16mである。主軸方向はN-87°-Eである。部分的な敷石と石囲炉をもつ。この遺構からは縄文土器272点、石器・石製品44点が出土した。(詳細は『田端遺跡 2021年度発掘調査報告書』2021年9月 参照)



1号敷石建物跡

町田市文化財年報 2021 年度

発 行 日	2022 年（令和 4 年）9 月 1 日
編 集	町田市教育委員会生涯学習総務課 〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22 電話 042-724-2554
発 行	町田市教育委員会
刊行物番号	22-37
印 刷	庁内

この冊子は 250 部作成し、1 部あたりの単価は 353 円です（職員人件費を含みます）。

